

おお大勝利

平成 22 年度山東サッカー部報第 1 号 (4 月 6 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

今年度こそ山東サッカー部の悲願達成の年にします！！よろしくお願ひいたします。

充実の鹿嶋遠征を終えて

3月28日～4月1日まで、茨城県鹿嶋市で行われた「鹿嶋ハイツカップ」に参加してきました。山東の春の伝統は千葉遠征（通称チバエン）でしたが、3年前にその参加大会が終了した等の関係から、昨年より鹿嶋での大会に参加して今年で2年目。新2年生の人数が少ないため、Aチーム、Bチーム2チームの参加が危ぶまれたものの、「新卒業生」で順天堂大学に入学を決め、サッカー部への入部を希望する阿部などの参加により、ぎりぎりの人数でやっと2チームで参加。28日にわずかながら降雪があったものの、大会期間（3月29日～4月1日）中はまずまずの天候。ピッチは人工芝で文句なし。1月末に東北新人に参加して、自分たちの力のなさを痛感し、意識高く練習してきたことがピッチで発揮できるかどうか。

Aチームは大会1日目、2日目とも実力以上の結果を出すことができ、出来すぎの二日間。当たったチームの多くは技術・スピードで山東を凌駕するも、山東のねばりに合って攻めあぐむ。そうした中、カウンターから得点するという昨年来の得意パターンが決まり勝ち星を重ねることができました。ディフェンスでは、素早い攻守の切り替えとDFラインとMFライン間のコンパクトネス(奪い所の明確化)という目標が形になりつつあり、二日間の出来は合格点。ただオフェンスではイージーミスからボールを失うシーンがあまりにも多く、技術レベルの低さから試合を難しくしておりました。パスの出し手(on the ballの選手)のレベルの低さは当然なのですが、ボールの受け手(off the ballの選手)もミスを誘発する動きをしていることが原因の一つではないか、そちらの方の改善によってミスを減らして行く方が現実的なのではないか、などの印象を受けました。

大会3日目と4日目は前二日の成績によるリーグ戦。前二日で実力以上の結果を出した山東は日本大学(1、2年生)、川崎市立橘高校、横浜市立東高校と顔合わせ。日大戦では相手の細かいパス回しによる攻撃には一応最終ラインで対応できたものの、縦に速い攻撃には付いて行けず完敗。橘高校戦は、左右に振られフィニッシュはダイビングヘッドというダイナミックな攻撃から先制されるも、ロングパスとドリブルを効果的に使うことができ逆転に成功。しかしセットプレーとまたしてもダイビングヘッドにより再逆転を許し、2-3での敗戦。橘高校はロングパスを多用するも、ドリブル・ショートパスのバランスも良く、苦し紛れのロングパスに頼りがちな山形東よりも二枚ほど上手。正直その戦いぶりを見習いたい相手でした。最終日の横浜東は大会で圧倒的な成績を残してきた強豪。格上にも接戦に持ち込んできたこれまでの流れを踏襲できるか、と思いきや、早々に失点し、何をやってもうまくは行かず、その後もズルズルと失点を重ね、結局0-8の完敗。シン

プルかつ判断の伴ったトラップ、パスによる攻撃がいかにかスピードを生み出すか、まざまざと思い知らされた敗戦でした。この大量得点による勝利で、日本大学を得失点差で上回った横浜東が大会史上初の高校生チームの優勝。山形東が貢献してしまいました・・・。

B チームは、ここ最近、A チームが練習試合にてビルドアップできず力負けするような時にも、幅を使った丁寧なパス回しから好ゲームを演じることが多く、期待を持って遠征に臨みました。今大会では、GK から DF ラインで急がずボールを回す、サイドを変える意識はあったものの、ボールを前に運ぶためのボール回しになっていたかどうか、怪しいことが多く、苦戦を強いられました。DF から FW に縦パスを当てる（楔のパスを入れる）とか、ポランチを経由して高い位置でサイドチェンジをすとか、ビルドアップにしても敵の嫌がることをしなかったのだが、DF でボールを回して結局は精度の低い縦パスに頼ることが多くはなかったか。結局大会を通じて1勝しか上げることができず、苦すぎる薬を飲むこととなりました。ただ、今回 B チームキャプテンを務めた裕也の見せたキャプテンシーには目を見張るものがありました。「地位が人を育てる」と良く言いますが、急造キャプテンとは思わせない責任感ある行動が光りました。

A チーム、B チームとも、力のあるチームとの対戦が、選手個々の成長、チームの成熟につながることを期待してやみません。最後になりましたが、遠征に際して、保護者会の皆様から激励金を頂戴しました。ありがとうございました。

県総体激励会 日程決まる

先日、保護者会長山川さん作成の「案内」を配りましたが、確認までに掲載しておきます。奮ってご参加ください。

4月24日(土) ホテルキャッスル山形にて 総会 18:00 開始 激励会・歓迎会 18:30 開始

なお、出欠申し込みの提出期限は4月19日顧問までとなっておりますので、遺漏なきようよろしくお願いいたします。

遠藤先生 執念の残留

昨年度からサッカー部顧問の遠藤剛先生ですが、このたび目出度く山東残留、サッカー部残留と相成りました。やったー！！ と、無邪気に喜んでしまいましたが、事情が分からない方はどのような喜びか、良く分からないかと思しますので、ちょっと説明させていただきます。

遠藤先生は平成19年度に保健体育の布施先生（剣道部顧問）の産休代替として年度途中に山東に赴任され、専門の剣道部を担当。布施先生がそのまま20年度も育児休暇に入られましたので、単年度契約の産休代替として引き続き山東で勤務されました。教諭以外で残留することがあまりない中、21年度は常勤講師として残留。ただ前年度より布施先生が復帰されたため、剣道部顧問のポストに空きがなくなり、「止む無く」サッカー部の顧問となりました。

顧問となられてからは、（それまでは見る方で）大好きだったサッカーをまさに堪能さ

れ、昨年度は顧問今野、選手が本当にお世話になりました。たくさんお世話していただくにつれ、「遠藤先生が来年もサッカー部見てもらえないかな～」と思えてくるのは必定。しかしその話も、山東から異動がないことが前提です。「(産休育休代替から常勤に切り替わりつつ足掛け)3年目ということもあまりないのに、4年目はさすがに・・・」というものが本人もその周囲も感じていたところだったのです。

ところが！ 遠藤先生の行いが良かったというべきか、サッカー部諸君の行いが良かったというべきか、まさかが起こってしまったのです。山東残留、そして剣道部の空きは引き続きないだけにサッカー部残留！いや～、遠藤先生、本当にありがとうございます。選手諸君、今年度、遠藤先生に恩返ししなくちゃね(何が最大の恩返しになるかは、良く考えなさい)。

今後の公式戦の日程

今後の当面の公式戦は以下のようにしております。応援よろしくをお願いします。

日付	大会名	対戦相手	場所	開始時刻
4月17日(土)	Y1 第1節	鶴岡東	天童第2人工芝	14:00
4月24日(土)	Y1 第2節	鶴岡工業	上山明新館	12:00
5月9日(日)	地区総体 準決勝 ¹	Mリーグの結果次第	落合スポセン北側	9:30

¹ 山東は昨年のY1の結果により、すでに県総体の切符を得ているため、Mリーグ(村山地区リーグ)および地区総体初日(5月8日)に不参加。MリーグのAリーグの1位チームと5月9日対戦いたします。Aリーグは山商、山本、寒高、学院、寒工、天童から成り立っています。